

おはようございます。高知大学の共通教育主管の奥田です。

本日から 4 日間にわたって中国・四国地区国立大学間共同授業を始めるに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。この共同授業は中四国の 9 つの国立大学を SCS によってリアルタイムで結んで行われます。また、共同授業の実施には、それぞれの大学から多くの教職員の協力をいただいております。よろしくお願いいたします。

さて、本年度は、鳥取、島根、岡山、広島、山口、香川、徳島、愛媛、高知の各大学で、総勢 800 名を越える学生が受講いたします。また、一部の会場では、高校生も参加しています。本授業の目的の一つは、中国・四国地区の国立大学におられる先生方の教育研究の成果を有効に活用できる課題を取り上げ、学生諸君に地域から世界へと発信する視野を持ってもらうことです。

本年度のメインテーマは、「現代社会の倫理」です。このメインテーマを中心にして人文科学分野、社会科学分野、自然科学分野から様々な切り口で問題を掘り下げます。

近年、わが国では、主に経済状態の低迷により、社会全体が閉塞感に覆われ、人々の活気や将来にかける希望などが徐々にしぼんできている様な気がします。

また、技術革新や情報化の急速な進展により、価値観が多様化して揺らいできた結果、いままで社会を支えてきたさまざまなルール、特に、個人および集団の道義的責任が果たされない、つまり、これは倫理観の喪失が関係しているのではないかと思います。

9 つの大学の先生方で行われる 1 2 の講義のなかで、現代社会で表出しているさまざまな問題とトピックを取り上げ、その歴史的背景と社会の変化を踏まえ、これからの倫理観のありかたと問題の解決策を考えていきます。

なお、8 月 6 日水曜日の 4 講目に総合討論の時間をとります。

討論のテーマは「新しい技術の時代と倫理の行方」です。(レジメ説明)

各大学から 1 名の発言者を予定しています。活発な討論を期待しています。

みなさんにとって、この授業が夏休みの有意義なものになることを期待いたしまして、あいさつを終わります。

以上